

## 令和6年度 認知症介護実践研修（実践リーダー研修）研修カリキュラム

### <講義・演習カリキュラム>

1日目	予定時間			教科名	研修形態	目的	概要
	開始	～	終了				
		所要	講義等				
10/1 (火)	9:10	～	9:35	■オリエンテーション			
		25					
	9:35	～	11:05	■認知症介護実践リーダー研修の理解	講義 ＋ 演習	チームにおける認知症ケアを推進する実践リーダーの役割とこの研修科目との関係性を踏まえ、研修の概要を把握する。実践リーダーとしての自己の課題を確認し、研修における学習目標を明確にする。	チームにおける認知症ケアを推進する実践リーダーに求められる役割を知り、研修科目の必要性や研修全体の目的など研修概要を把握する。また、実践リーダーとしての自己課題を確認し、研修の受講動機を高め、学習目標を明確にする。
		90					
	11:05	～	11:15	休憩			
		10					
	11:15	～	12:15	■認知症の専門的理解（前半）	講義 ＋ 演習	一人の「人」としての理解を踏まえつつ、行動の背景の一つである認知症の病態を理解し、ケアができるよう、最新かつ専門的な知識を得る。	認知症に関する研究は年々進展している。認知症におけるチームケアの促進や介護職員等の指導を担う実践リーダーは最新の知識を有し、同時に認知症に関する専門的な知識を活用したケアの実践、介護職員等の指導、チームケアの向上が求められている。本科目は、認知症ケアにおける実践リーダーに必要な認知症に関する最新の知識の修得や専門性の向上を目的とし、認知症の病態や治療、社会的課題等に関する専門知識を学習する。
		60					
	12:15	～	13:15	昼休憩			
	60						
13:15	～	14:15	■認知症の専門的理解（後半）	講義 ＋ 演習	一人の「人」としての理解を踏まえつつ、行動の背景の一つである認知症の病態を理解し、ケアができるよう、最新かつ専門的な知識を得る。	認知症に関する研究は年々進展している。認知症におけるチームケアの促進や介護職員等の指導を担う実践リーダーは最新の知識を有し、同時に認知症に関する専門的な知識を活用したケアの実践、介護職員等の指導、チームケアの向上が求められている。本科目は、認知症ケアにおける実践リーダーに必要な認知症に関する最新の知識の修得や専門性の向上を目的とし、認知症の病態や治療、社会的課題等に関する専門知識を学習する。	
	60						
14:15	～	14:25	休憩				
	10						
14:25	～	17:55	■施策の動向と地域展開	講義 ＋ 演習	認知症施策の変遷と最新の動向を理解する。地域における認知症施策の展開例を知り、地域包括ケアシステムの構築に必要な関係機関との連携・参画できる知識を修得する。	昨今、認知症に関連する制度の整備は進んできており、特に実践リーダーは地域包括ケアシステムの展開例を知り、介護職員等に説明、指導できる必要がある。本科目は、認知症施策の変遷と最新の動向や地域における施策の展開例を知り、周辺地域における地域包括ケアシステムの構築や関係機関との連携体制の構築に参画できるための知識の修得を目指す。	
	210						
17:55	～	18:05	休憩				
	10						
18:05	～	18:35	■本日の振り返り			当日の受講科目の学びを深める。	学びの共有と振り返り。
	30						

計 420

2日目	予定時間			教科名	研修形態	目的	概要
	開始	～	終了				
		所要	講義等				
10/2 (水)	9:20	～	12:20	■チームケアを構築するリーダーの役割	講義 + 演習	チームの構築や活性化のため、チームリーダーとしての役割を理解し、円滑にチームを運用する者であることを自覚する。次に、チームにおける目標や方針の設定の必要性を理解し、目標をふまえた実践の重要性と展開方法を理解する。	チームによる認知症ケアの向上において、実践リーダーはチーム構築や活性化を促進するチームビルダーとしての役割が期待されている。本科目ではチームの目標や方針の共有と実践への展開、介護職員等のストレスマネジメント、情報共有のためのカンファレンス等の実施、チームメンバーの編成、介護職員等への動機づけ、教育や指導に関する基本的な考え方と方法について学習し、実践リーダーとしてチームを円滑に運用する方法を理解する。
		180					
	12:20	～	13:20	昼休憩			
		60					
	13:20	～	15:20	■ストレスマネジメントの理論と方法	講義 + 演習	チームケアを円滑に運用するため、ストレスの仕組みと対処法を理解した上で、実践リーダーとして介護職員等のストレスの緩和やメンタルヘルスのマネジメントを実践することができる。	チームを活性化するためにはメンバー個々のストレス評価を行い、ストレス度や原因に応じたストレス緩和を実行することが必要である。本科目では、ストレス概念やストレス理論を理解した上で、実践リーダーとしてチームメンバーのストレスを緩和する方法論や実践方法を学習する。
		120					
	15:20	～	15:30	休憩			
	10						
15:30	～	17:30	■ケアカンファレンスの技法と実践	講義 + 演習	チームケアの質の向上を図るため、ケアカンファレンスの効果的な展開方法を身につけ、チームにおける意思決定プロセスの共有を実現できる。	チームケアを実現するためには、利用者のニーズに基づき導かれたケアの目的や目標に沿って決定したケアの方法について、その決定プロセスをチームメンバー間で共有することが必須である。ケアの決定プロセスなどを共有する方法の一つがケアカンファレンスであり、チーム内のコミュニケーション手段の一つでもある。本科目では、ケアカンファレンスに必要な知識や技術を学習する。	
	120						
17:30	～	17:40	休憩				
	10						
17:40	～	18:10	■本日の振り返り			当日の受講科目の学びを深める。	学びの共有と振り返り。
	30						

計 420

3日目	予定時間			教科名	研修形態	目的	概要
	開始	～	終了				
		所要	講義等				
10/7 (月)	9:20	～	12:20	■認知症ケアにおけるチームアプローチの理論と方法	講義 ＋ 演習	多職種・同職種間での適切な役割分担や連携にあたって、認知症ケアにおけるチームアプローチの方法を理解し、実践するための指導力を身につける。	認知症ケアにおけるチームアプローチへの展開方法を理解する。ケアチームにおけるケアカンファレンス、目標や情報の共有、多職種・同職種の役割分担と連携等について施設入居事例、在宅事例などの実践事例を踏まえ認知症ケアにおけるチームアプローチの方法を理解し、受講者がこれまで学習した内容をチームアプローチにおいて実践するために必要となる指導能力を高めることを目指す。
		180					
	12:20	～	13:20	昼休憩			
		60					
	13:20	～	17:20	■職場内教育の基本的視点	講義 ＋ 演習	認知症ケアを指導する立場として、指導に関する考え方や基本的態度を学び、認知症ケアの理念を踏まえた指導に必要な視点を理解し、職場内教育の種類、特徴を踏まえた実際の方法を修得する。	本科目では、認知症ケアの指導に関する考え方や指導上の留意点など基本的態度を学び、認知症ケアの理念を踏まえた指導理念や指導視点を学ぶことを目指す。また、職場における介護職員等への指導計画立案を通して職場内教育の運用方法について学習する。
	240						
	17:20	～	17:30	休憩			
		10					
	17:30	～	18:00	■本日の振り返り		当日の受講科目の学びを深める。	学びの共有と振り返り。
		30					

計 420

4 日 目	予定時間			教科名	研修形態	目 的	概 要
	開始	～	終了				
		所要	講義等				
10/8 (火)	9:20	～	12:20	■職場内教育（OJT）の方法の理解（前半）	講義 ＋ 演習	介護職員等への指導に有効な技法の種類と特徴を理解し、職場で実践できる指導技術の基本を修得する。	介護職員等の技術向上は、スーパービジョンや個別指導等の職場内の指導による教育が有効であり、実践リーダーには職場内教育（OJT）を実践しチームケアの質の向上を達成する役割が期待されている。本科目は、人材育成の方法における職場内教育（OJT）の技法を理解し、認知症ケアの指導技術の修得を目指す。
			180				
	12:20	～	13:20	昼休憩			
			60				
	13:20	～	14:20	■職場内教育（OJT）の方法の理解（後半）	講義 ＋ 演習	介護職員等への指導に有効な技法の種類と特徴を理解し、職場で実践できる指導技術の基本を修得する。	介護職員等の技術向上は、スーパービジョンや個別指導等の職場内の指導による教育が有効であり、実践リーダーには職場内教育（OJT）を実践しチームケアの質の向上を達成する役割が期待されている。本科目は、人材育成の方法における職場内教育（OJT）の技法を理解し、認知症ケアの指導技術の修得を目指す。
			60				
	14:20	～	14:30	休憩			
		10					
	14:30	～	17:30	■職業内教育（OJT）の実践（前半）	講義 ＋ 演習	これまでに学習した認知症ケアに関する指導技術について、食事・入浴・排泄等の介護、行動・心理症状（BPSD）、アセスメントとケアの実践などの具体的場面において、どのように活用していけば良いか、演習を通じて体験的に理解する。	認知症の人の能力に応じた自立支援による生活の質の向上を目指し、介護職員等を現場で指導をするにあたり、必要となる介護職員等の力量の評価、個別課題の明確化と指導目標の設定、及び指導計画の立案、並びに介護技術に関する指導方法、その結果・成果の評価について事例演習によって体験的に学習し、実践的な指導力を高めることを目指す。また、自己の指導の特徴と今後学習を進める課題を明らかにすることを旨とする。
		180					
	17:30	～	17:40	休憩			
		10					
	17:40	～	18:10	■本日の振り返り		当日の受講科目の学びを深める。	学びの共有と振り返り。
		30					

計 420

5日目	予定時間			教科名	研修形態	目的	概要
	開始	～	終了				
		所要	講義等				
10/11 (金)	9:20	～	12:20	■職場内教育（OJT）の実践（後半）	講義＋演習	これまでに学習した認知症ケアに関する指導技術について、食事・入浴・排泄等の介護、行動・心理症状（BPSD）、アセスメントとケアの実践などの具体的場面において、どのように活用していけば良いか、演習を通じて体験的に理解する。	認知症の人の能力に応じた自立支援による生活の質の向上を目指し、介護職員等を現場で指導をするにあたり、必要となる介護職員等の力量の評価、個別課題の明確化と指導目標の設定、及び指導計画の立案、並びに介護技術に関する指導方法、その結果・成果の評価について事例演習によって体験的に学習し、実践的な指導力を高めることを目指す。また、自己の指導の特徴と今後学習を進める課題を明らかにすることを旨とする。
		180					
	12:20	～	13:20	昼休憩			
		60					
	13:20	～	17:20	■職場実習の課題設定	講義＋演習	研修で学んだ内容を生かして、職場の介護職員等の認知症ケアの能力の評価方法を理解する。	講義、演習で学んだ内容を生かし、職場における介護職員等の認知症ケアに関する態度、知識、技術の向上を目的とした教育、指導を実践し、認知症ケアに関する指導方法の実際を体験的に理解するため、本科目では介護職員等の認知症ケアの能力を評価する方法を立案することを旨とする。
	240						
	17:20	～	17:30	休憩			
		10					
	17:30	～	18:00	■本日の振り返り		当日の受講科目の学びを深める。	学びの共有と振り返り。
		30					

計 420

## <実習等カリキュラム>

期間・日時	科目名	区分	目的	概要
10/ 12 (土) ～ 11/15 (金)  (内 4 週間)	■職場実習	実習	研修で学んだ内容を生かして、職場の介護職員等の認知症ケアの能力の評価、課題の設定・合意、指導目標の設定や指導計画を作成し、指導計画に基づいた認知症ケアを指導する。	講義、演習で学んだ内容を生かして、職場における介護職員等の認知症ケアに関する態度、知識、技術の向上を目的とした教育、指導方法の実際を理解するため、本科目では実習に協力する介護職員等の認知症ケア上の課題に応じた指導計画の作成を体験的に理解し、職場内での指導方法の理解を深めることを目指す。

12/11 (水)	9:20 ～ 12:20 180	■結果報告/職場実習評価 (前半)	講義 + 演習	職場実習を通して、認知症ケア指導の方法に関する課題やあり方について客観的・論理的に考察・報告し、実践リーダーとして指導の方向性を明確にできる。	職場実習を踏まえ、実習報告への評価によって、職場における介護職員等の認知症ケアに関する態度、知識、技術の向上を目的とした教育指導方法の課題や今後の方向性を明確にすることを旨す。
	12:20 ～ 13:20 60	昼休憩			
	13:20 ～ 17:20 240	■結果報告/職場実習評価 (後半)	講義 + 演習		